FlexConnect中央DHCPの設定例

内容

概要

前提条件

要件

使用するコンポーネント

背景説明

設定

ネットワーク図

<u>ダイナミックインターフェイス設定</u>

WLANごとの中央DHCP

FlexConnect APごとの中央DHCP

FlexConnectグループごとの中央DHCP

概要

このドキュメントでは、FlexConnect Central Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)の機能とその設定方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する基本知識が推奨されます。

- AireOS WLC
- FlexConnect AP
- DHCP
- ネットワーク アドレス変換(NAT)
- •ポートアドレス変換(PAT)

使用するコンポーネント

- WLC v8.0.140.0
- AP 1700

注:この機能はバージョン7.3以降で使用できます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

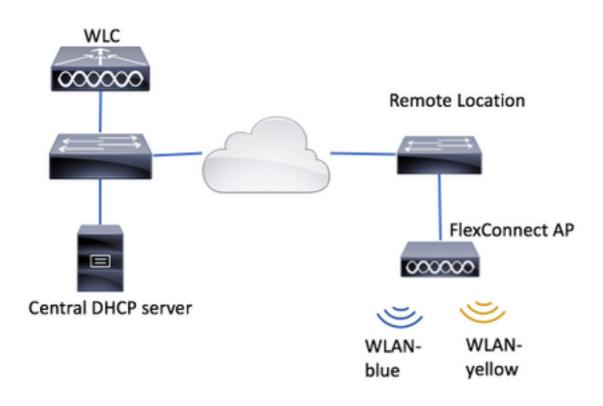
FlexConnectモードのアクセスポイント(AP)が、使用可能なDHCPサーバがないサイトや、サブネットの1つに使用可能なDHCPサーバがあるが、FlexConnect APが異なるサブネットを持つ複数のService Set Identifier(SSID)を処理する必要があるがある場合があります。

このような場合、リモートロケーションからワイヤレスLANコントローラ(WLC)にDHCPディスカバリパケットをブリッジし、そこからWLCをブリッジして、設定済みのダイナミックインターフェイスの1つを介してDHCPパケットを転送できます。クライアントが中央DHCPサーバからIPアドレスを取得すると、このクライアントからのトラフィックはリモートロケーションでローカルに流れます。

クライアントに割り当てられたIPアドレスのサブネットがリモートロケーションに存在しない場合は、NAT-PATを有効にして、クライアントからAPにトラフィックが流れるようにし、APはNAT-PATを実行します。

設定

ネットワーク図



この設定例では、2つのワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)でこのトポロジを使用します。WLAN-blueにはリモートロケーションにローカルDHCPサーバがありますが、WLAN-yellowにはありません。WLAN-yellowで送信されたDHCPディスカバリパケットはWLCに転送され、WLCはダイナミックインターフェイスの1つを経由して中央DHCPサーバに転送し、中央DHCPサーバはWLAN-yellowで生成されたトラフィックがローカルに流れて、FlexConnect PATをします許可するには、クライアントに割り当てられたIPアドレスのサブネットがリモートロケーションに存在しないためです。

WLAN-blueの設定方法の例は、次のリンクにあります。

中央DHCPを設定するには、次の3つのセクションがあります。

- FlexConnect APごと
- FlexConnectグループごと
- WLANごと

ダイナミックインターフェイス設定

これらのシナリオで中央DHCPを設定する前に、WLCがDHCPディスカバリパケットの転送に使用するダイナミックインターフェイスを設定する必要があります。

ステップ1:[CONTROLLER] > [Interfaces]に移動し、[New]をクリックします。

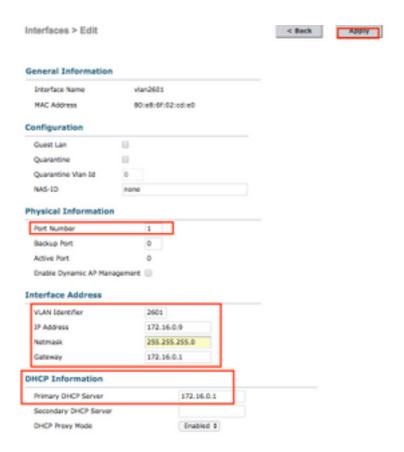


ステップ2:名前とVLAN IDを割り当て、[Apply]をクリックします。



ステップ3:ダイナミックインターフェイスのIPアドレス、そのポート、およびDHCPサーバのIPアドレスを入力します。完了したら、[Apply]をクリック**します。**

この例では、このダイナミックインターフェイスのデフォルトゲートウェイもこのVLANの DHCPサーバです。



次の設定例では、WLAN-yellowのクライアントがVLAN 2601からIPアドレスを受信します。 VLAN 2601はリモートロケーションには存在せず、WLCの場所でのみNAT-PATが有効であるため、APはVLAN 2601に属するIPアドレスからクライアントによって生成されたトラフィックを自身のIPアドレスに変換します。

WLANごとの中央DHCP

この設定は、FlexConnectローカルスイッチングWLANで中央DHCPを有効にします。この機能は、SSID WLAN-yellowをブロードキャストするすべてのFlexConnect APに適用されます。

ステップ1:WLANを作成します。

WLCのGUIを開き、[WLANs] > [Create New] > [Go]に移動します。



SSIDとプロファイルの名前を選択し、[適用]をクリックします。

| ٧ | VLANs > New | | < Back | Apply |
|---|--------------|--------------|--------|-------|
| | Туре | WLAN V | | |
| | Profile Name | profile-name | | |
| | SSID | SSID-name | | |
| | ID | 2 ~ | | |

CLI:

> config wlan create <wlan-id> <profile-name> <ssid-name>

ステップ2:WLANに割り当てられたインターフェイスを選択します。

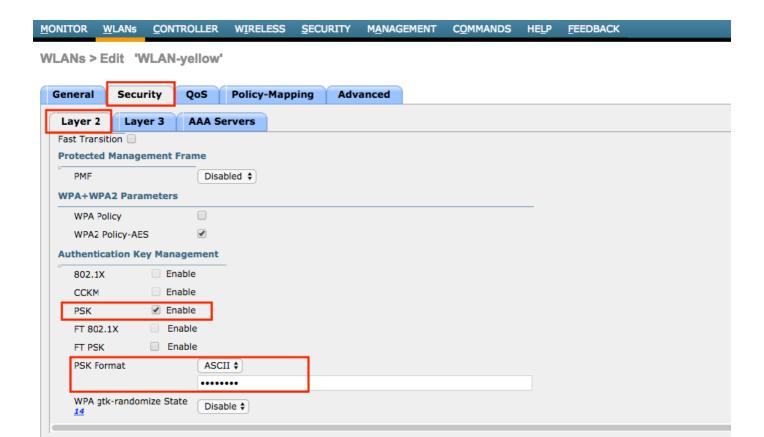
| eneral Securi | ty QoS Policy-Mapping Advanced | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|--|
| | | | | | |
| Profile Name | WLAN-yellow | | | | |
| Туре | WLAN | | | | |
| SSID | WLAN-yellow | | | | |
| Status | Enabled | | | | |
| Security Policies | [WPA2][Auth(PSK)] | | | | |
| Security Policies | (Modifications done under security tab will appear after applying the changes | | | | |
| Radio Policy | All \$ | | | | |
| | | | | | |

CLI:

config wlan interface <wlan-id> <interface-name>

ステップ3:[Security]タブに**移動**し、セキュリティ方式を選択します。

この例では、WPA2-PSKを使用しています。

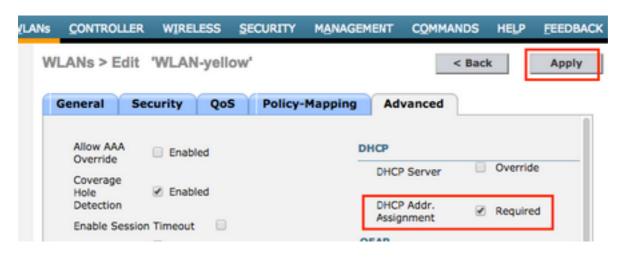


CLI:

config wlan security wpa akm 802.1x disable <wlan-id>
config wlan security wpa akm psk enable <wlan-id>
config wlan security wpa akm psk set-key ascii <password> <wlan-id>

ステップ4:[Advanced]タブに移動し、[DHCP Required]を有効にします。

中央DHCPを使用するには、DHCP必須機能が必須です。



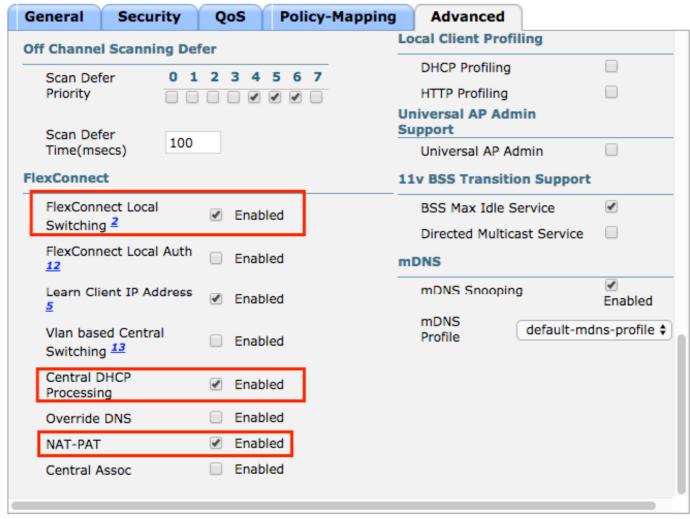
CLI:

config wlan dhcp_server <wlan-id> 0.0.0.0 required

ステップ5:[Advanced] タブに移動し、[Flexconnect Local Switching] と[**Central DHCP Processing]を有効にします。**WLANに割り当てられたサブネットがリモートサイトに存在しない場合は、**NAT-PAT**が有効になっていることを確認します。

WLANs > Edit 'WLAN-yellow'



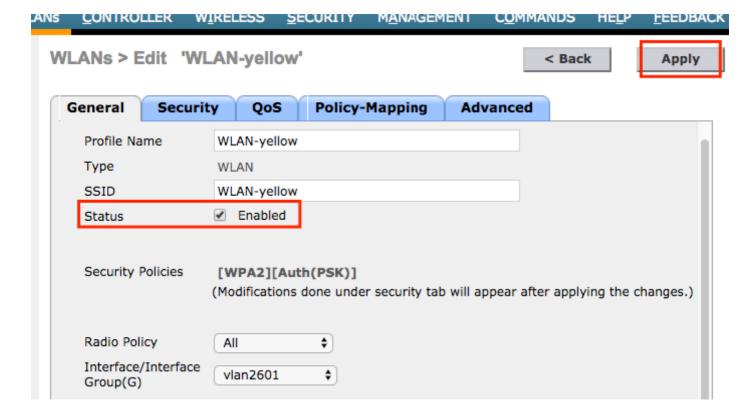


Foot Notes

CLI:

config wlan flexconnect local-switching <wlan-id> enable
config wlan flexconnect local-switching <wlan-id> central-dhcp enable

ステップ6:[General]タブに移動し、WLANを有効にします。



CLI:

config wlan enable <wlan-id>

この設定では、FlexConnect APのSSID WLAN-yellowに関連付けられたすべてのワイヤレスクライアントがVLAN 2601からIPアドレスを受信し、そのトラフィックはリモートサイトでローカルに流れ、FlexConnect APがトラフィックに対してNATを実行します。

リモートロケーションに基づいてVLAN割り当てをカスタマイズする必要がある場合は、APグループを使用できます。これにより、同じWLANを使用し、APグループごとに異なるVLANを割り当てることができます。設定方法の詳細については、次のリンクを参照してください。

AP グループ

FlexConnect APごとの中央DHCP

この例では、1つのFlexConnect APに対して中央DHCPを設定する方法を示します。Flex-1と呼ばれるAPに接続されたクライアントだけが、WLCのロケーションにのみ存在するVLAN 2601のDHCPサーバからIPアドレスを取得します。

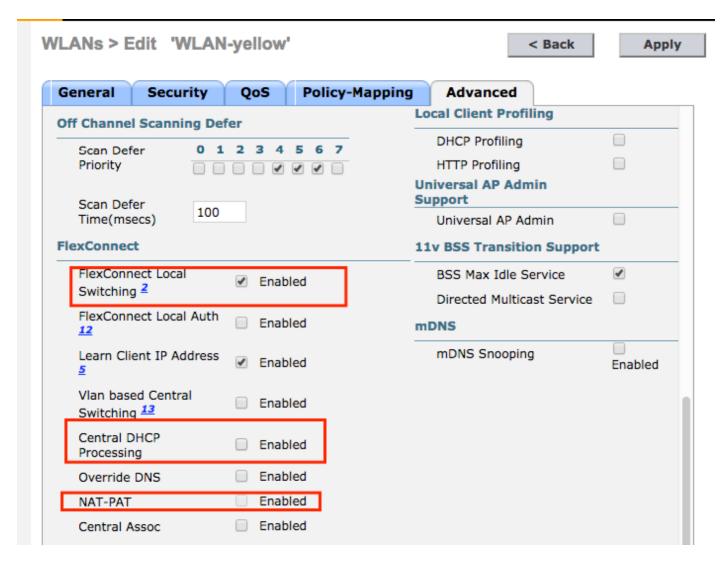
この例では、APがすでにFlexconnectモードで設定されていることを前提としています。

All APs > Details for Flex-1

| General | Credentials | Interfac | es High Availabilit |
|----------|---------------|--------------|---------------------|
| General | | | |
| AP Name | Flex- | 1 | |
| Location | defau | ult location | |
| AP MAC A | Address f0:7f | :06:e1:9e:a0 |) |
| Base Rad | io MAC f0:7f | :06:ee:f5:90 | |
| Admin St | atus Ena | ble 💠 | _ |
| AP Mode | Flex | Connect \$ | |
| AP Sub M | lode Non | e \$ | |

ステップ1:WLANを作成します。

WLANごとの中央DHCPで確認したのと同じ手順を実行できますが、ステップ5では、FlexConnectローカルスイッチングを有効にするだけです。これにより、他のAPに接続しているクライアントは、リモートサイトでローカルにDHCPディスカバリパケットをスイッチングできます。



ステップ2:FlexConnect APで中央DHCPを有効にします。

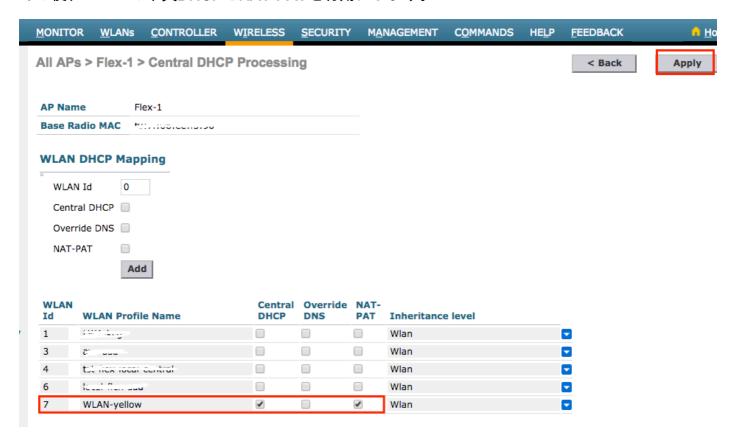
[WIRELESS] > [Access Points] > [All APs] > [AP-name]に移動します。



次に、[FlexConnect]タブに移動し、[Central DHCP Processing]をクリックします。

| Credentials | Interfaces | High Availability | Tougater | | |
|--------------------|------------------------------|---|---|---|---|
| | | mgn Avanability | Inventory | FlexConnect | Advan |
| | | | | | |
| € | | | | | |
| N ID 2683 | VLAN Mappir | ngs | | | |
| ct flex-grp | | | | | |
| ation Access Co | ntrol Lists | | | | |
| bAuthentication AC | La | | | | |
| CLs | | | | | |
| | ct flex-grp ration Access Co | tt flex-grp ration Access Control Lists | tt flex-grp sation Access Control Lists | tt flex-grp sation Access Control Lists | th flex-grp sation Access Control Lists |

その後、WLANの中央DHCPとNAT-PATを有効にします。



CLI:

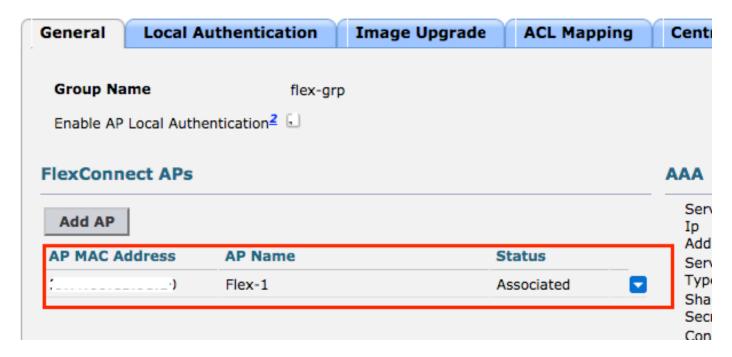
config ap flexconnect central-dhcp <wlan-id> <AP-name> enable override dns disable nat-pat
enable

FlexConnectグループごとの中央DHCP

この例では、1つのFlexConnectグループに対して中央DHCPを設定する方法を示します。flexgrpというFlexConnectグループに関連付けられた任意のAPに接続されているクライアントだけが 、WLCのロケーションにのみ存在するVLAN 2601のDHCPサーバからIPアドレスを取得します。

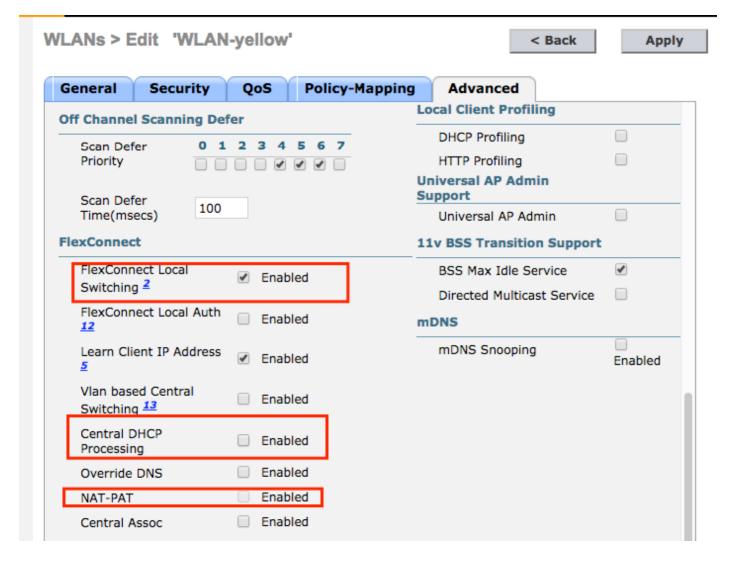
この例では、FlexConnect APがすでにFlexConnectグループに属していることを前提としています。

FlexConnect Groups > Edit 'flex-grp'



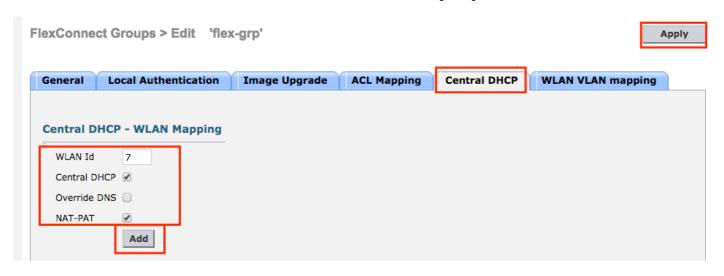
ステップ1:WLANを作成します。

WLANごとの中央DHCPで確認したのと同じ手順を実行できますが、ステップ5では、FlexConnectローカルスイッチングを有効にするだけです。これにより、他のAPに接続しているクライアントは、リモートサイトでローカルにスイッチングされるDHCPディスカバリパケットを取得できます。

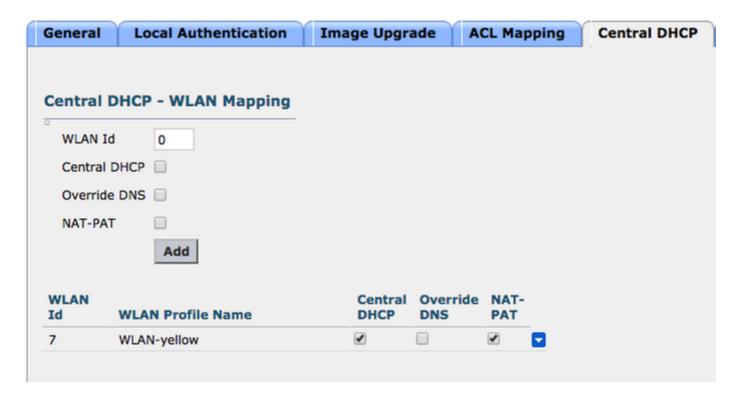


ステップ2:FlexConnectグループで中央DHCPを有効にします。

[WIRELESS] > [FlexConnect Groups] > [Group Name] > [Central DHCP]に移動します。WLAN-IDを入力し、Central DHCPとNAT-PATを有効にしてから、[Add]をクリックしますす。



FlexConnect Groups > Edit 'flex-grp'



CLI:

関連情報

- Flex 7500 ワイヤレス ブランチ コントローラ導入ガイド
- FlexConnect Enterprise Mobility 8.1導入ガイド
- FlexConnect 機能マトリクス